

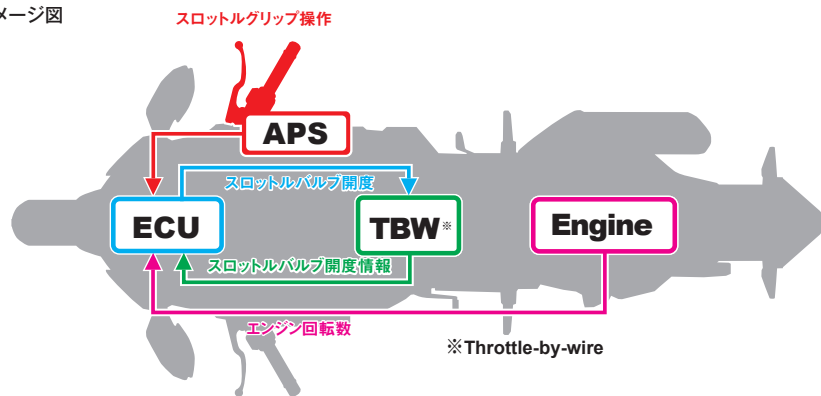
●スロットルバイワイヤシステム

新しいCBR1000RRでは、開発テーマである「操る楽しみの進化」をライダーに提供するため、MotoGPマシン「RC213V」でも採用しているスロットルバイワイヤシステムを搭載。スロットルグリップの操作に連動するアクセルポジションセンサー(以下APS)を右側ハンドルスイッチハウジングに内蔵したことにより、従来のスロットルケーブルを不要としました。

ライダーのスロットル開度をAPSで検出、その信号によりECUがスロットルバイワイヤモーターに駆動信号を送ることでスロットルバルブ制御を行っています。APS内のリターン springs とフリクション発生機構により、従来のケーブル式スロットルの自然な操作フィーリングを再現し、違和感のない緻密なスロットル操作を可能としています。

また、スロットルバイワイヤの開度特性設定では、RC213V-Sの開発で得られたノウハウを適用し、エンジン回転域や使用ギアに関わらずスロットルレスポンスが一様となることをねらいとしてセッティングを実施。これによりCBR1000RRにおいてもRC213V-S同様の高いスロットルコントロール性を実現しました。

■スロットルバイワイヤシステム制御イメージ図



●パワーセクター

ライダーの好みや走行状況に応じて、スロットル操作に対する出力特性を任意に選択できる5段階のパワーセクター機能を搭載しました。ライダーのスロットル操作に対して、スロットルバルブ開度をコントロールし各段階ごとに出力特性を切り替えています。

スロットルバルブ開度特性は各段階とも、トラクションが掛かり始める領域ではスロットル全閉から開け始めの扱いやすさは同じとし、そこからさらに加速する際の出力特性を変化させています。

6速全てのギアでピーク出力まで引き出せるレベル1から、1～4速ギアの出力を制御し加速時の出力、反応を最も穏やかにすることでスロットルコントロール性をスムーズにしたレベル5までを設定しています。

■パワーセクター出力特性イメージ図

